

令和7年度 伊保内学校教職員 働き方改革アクションプラン

～すべての教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができる職場～

伊保内高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間
・月80時間以上の者 R6年度:2人 R5年度:2人 R4年度:6人
時間外在校等時間(週休日等の部活動指導従事時間を含む)
・月45時間超の者 R6年度:10人 R5年度:11人 R4年度:13人
・月360時間超の者 R6年度:10人 R5年度:9人 R4年度:10人

【定性的現状】

- 教職員定数の減少や地域連携事業等の担当者の業務が多くなり、業務の平準化が進んでいない。
- ICT機器を導入して授業改善を目指しているが、ICT機器に精通した教員による活用が多く、全教員にまで活用が進んでいない。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 時間外在校等時間 **月80時間以上の者ゼロ**
時間外在校等時間(週休日等の部活動指導従事時間を含む)
月40時間超、年360時間超の者を段階的に縮減
- 業務への充実感や健康面での安心感の向上、教職員のウェルビーイングの確保

【目指す姿】

- ・ 授業や授業準備に集中できている
- ・ 健康でいきいきと業務を行っている
- ・ 業務にやりがいを感じている
- ・ 自分の家庭のための時間を十分に確保できている
- ・ 自分自身の自由な時間を確保できている

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 管理職による面談や積極的な声掛けにより、相談しやすい環境を整え、傷病・疾病の早期発見・治療を推進します。・ 月の途中で月の時間外在校等時間が35時間超となった教員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、業務分担の見直しを検討します。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 職員面談を通して、年度途中でも業務見直しと改善に取り組みます。・ 業務のICT化を推進し、業務の効率化を進めます。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 働き方改革の取組について、保護者や地域の方々に理解いただけるよう、積極的に呼びかけます。・ 学校運営協議会と目指す学校像の共有を図り、実現のための取り組みを協力して行います。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 令和7年度も継続して校務の整理・精選に取り組みます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ PTA総会や同窓会総会を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。